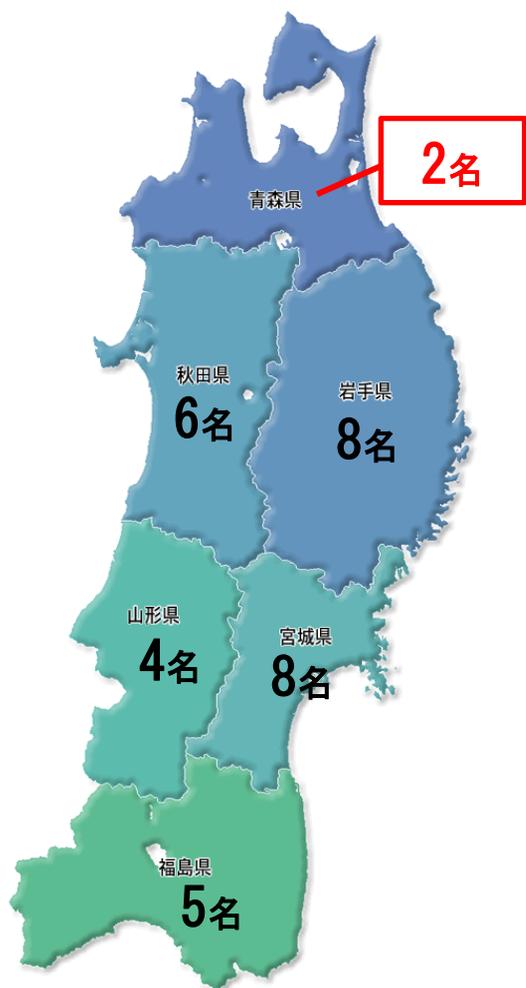


青森県立保健大学大学院 CNS(専門看護師)コース

(修士課程)



がん看護専門看護師数
(平成29年5月時点)



※ 日本全体では713名

青森県のがん看護専門看護師は
現在 2名



質の高い看護を提供できる
がん看護のスペシャリスト
が青森県をはじめ全国的に不足している

がんは、昭和56年より日本人の死因の第1位です。日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡すると言われており、青森県も同様の状況です。年々増え続けるがん患者の治療にかかわる看護師は、多くの病院で必要とされています。

特に、がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に寄り添い、高水準の看護を提供するがん看護専門看護師を求めるニーズは、日に日に高まっています。

CNS(専門看護師)コース紹介については裏面をご覧ください。

青森県立保健大学大学院 CNSコース(がん看護・母性看護)紹介 (専門看護師)

がん看護専門看護師コース

取得可能な学位: 修士(看護学)

◎がん看護専門看護師教育課程

がん看護に貢献できる人材の育成を目指します。

「がん看護専門看護師」は、がん患者の身体的・精神的な苦痛について理解し、全ての病期において患者やその家族に寄り添い、質の高い看護を提供することが役割です。

がんに関する高度の知識・技術を持ち、がん治療中の患者や家族に対し、その人らしく暮らすことができるよう相談活動や様々な調整をし、専門的な知識や技術をもって、がんや治療による痛みや苦痛を緩和し、安全にかつ確実に治療や看護が受けられるよう支援します。そのために、その他の保健医療福祉に携わる関係者との協力を図り、チームとして様々な問題を解決する中心的役割を担います。

これまで日本の専門看護師は26単位を基準にして教育が行われてきましたが、平成24年度から38単位を基準にしてケアとキュアを融合した高度な看護実践能力を持つより高い水準の専門看護師の育成制度が始まり、本学のがん看護専門看護師教育課程は38単位の教育課程として認定を受けています。

母性看護専門看護師コース

取得可能な学位: 修士(看護学)

◎母性看護専門看護師教育課程 (平成16年度～)

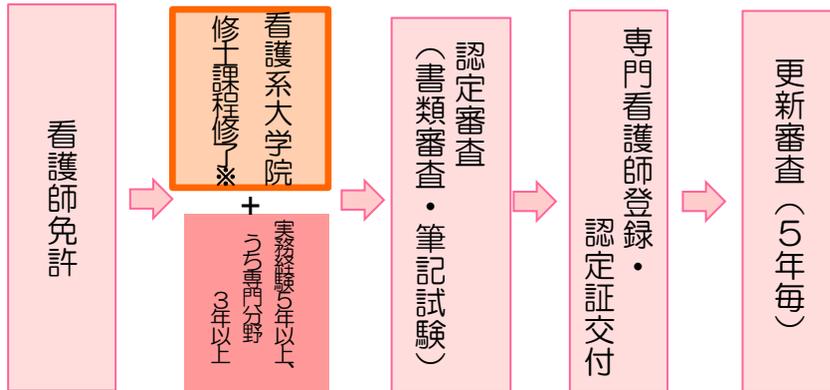
周産期の母子および家族に対する質の高いケアを提供できる人材の育成を目指します。

周産期の母子援助における「母性看護専門看護師」の役割は、一貫した母子および家族のプライマリーケアを計画・実践・評価し、緊急事態に対応するとともに、研究や業務管理・政策参画を通して母子援助のケアを発展させるためにリーダー的役割を担うことです。

さらに、周産期の看護職者のケアを向上させるために、教育的役割やコンサルテーション機能を果たすとともに、必要なケアが円滑に提供されるように他職種との調整役割も担います。

本学の周産母子看護学領域では、これらの高度な看護実践能力を修得できるカリキュラムが組み立てられており、実習においては母性看護専門看護師である本学の臨床教授等から直接指導を受けられます。

○専門看護師資格取得の流れ



※ 日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得すること(26単位または38単位)

■ 募集人員・入試に関する詳細については、「学生募集要項」(5月下旬頃にホームページ等で配付開始)をご覧ください。 ホームページURL: <http://www.auhw.ac.jp/>

■■お問い合わせ先■■

・担当教員 (がん看護学) 鳴井 ひろみ TEL:017-765-2040
(周産母子看護学) 佐藤 愛 TEL:017-765-2032
・教務学生課(入試に関する問合せ) TEL:017-765-2144